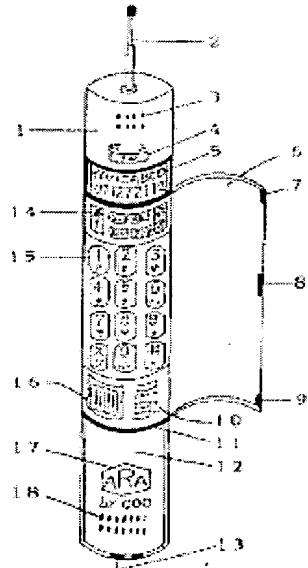


Publication number: U6-62657
Date of publication of application 1994/09/02
Application number 5-10878
Date of filing 1993/02/01

PEN-SHAPED CELLULAR PHONE AND ITS APPLIED ARTICLE

By using a form of pen-shape for cellular phone, easy-to-use and portability can be realized, and inserting into chest pocket is also possible.

Replacing the battery part with ballpoint pen part serves as a writing implement when the battery is charged or the phone is unused.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) **公開実用新案公報 (U)**

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-62657

(43)公開日 平成6年(1994)9月2日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	府内整理番号	F I	技術表示箇所
H 04 M 1/02	C	9077-5K		
B 43 K 29/00	Z	6863-2C		
H 04 B 7/26	V	7304-5K		

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全2頁)

(21)出願番号 実願平5-10878

(22)出願日 平成5年(1993)2月1日

(71)出願人 593049659

荒 邦弘

札幌市中央区南15条西10丁目2番1

(72)考案者 荒 邦弘

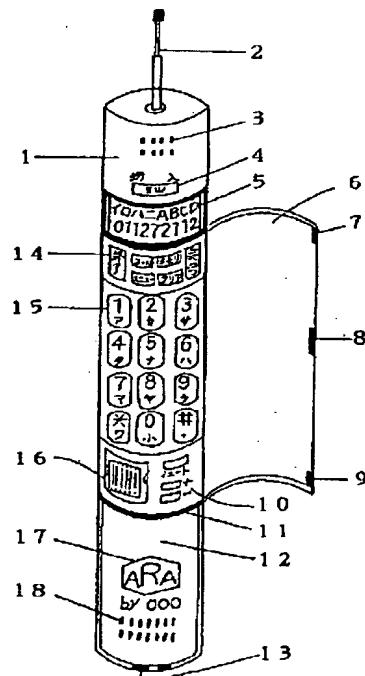
札幌市中央区南15条西10丁目2番1

(54)【考案の名称】 ペンシル型携帯電話機の形状とその応用品

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 携帯電話機の形状をペンシル型にすることによって使用上及び携帯性から見て、より簡便とし、更に胸ポケット等への差し込みが可能となる。また、蓄電池(バッテリー)の充電時及び本機の未使用時等には蓄電池の装着部から外して、別部品であるボールペン等と差し替える事に依って「筆記具」としての役目を持たせる。

【構成】 電話機本来の目的でもある受発信通話の機能を持つ小型無線機と小型蓄電池12を以って一時的製品とするが、二次的には別部品を用いて「筆記具」の機能を持たせるためバッテリーの装着部分と同様の形状規格のボールペン等を作製して、差し替え交換して別用途としても使用できるものとする。



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、携帯電話機の形状をペンシル型即ち小型円形又は角形の筒状にすること、及び更なる計量化を図ること等で使用上、携帯性等の簡便さを計り且つ胸ポケット等への差し込みも可能とし、持ち歩きの便利性を計ると共に本機を電話機本来の目的でもある受け発信通話の以外にも別途に「筆記具」としての役割をも持たせる多機能なものとして、その利用分野を広げるものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来の携帯電話機は、手持ち式が大半でありポケットに収納が可能なものであっても、その重量は300g～500g程度もあり身に付けにくいものが多い。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

携帯電話機の持つ本来の目的から見て、胸ポケット等にも差し込めて身に付け易くして且つ軽量にする為にはキャビネット（外函）の材質、操作鈎、使用部品及び電子回路基盤に用いる半導体素子等に改良を行う必要があり、且つ付属される蓄電池（バッテリー）においても本体と同様に小型軽量化が成されなければならない。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

先ず第1には、本体の形状と大きさ（寸法・容積）であり、これを前述の様な小型円形又は角形の筒状にして細く小さくするものとし、第2には本体の重量を軽量にする事である。これに付いては先ずキャビネットの材質をより軽い素材のものを用いる事とし、次には各種の操作鈎類をより小さなものにする事。更には内部に使用する電子回路基盤の小型化とこれらに用いる半導体素子（I C・L S I等）を集約し小型化したものを用いるものとし、且つ付属する蓄電池（バッテリー）においても本体と同様に小型軽量化のものを用いて達成せしめること。

【0005】

通話中の誤動作防止や原型状を保つ為に用いるものとし、図1の11本体と蓄電池の着脱は双方のキャビネットに凹凸溝を付けてロック釦によって脱着するもの。

【0008】

請求項2に付いては、図2の19が図1の12蓄電池本体と交換用の別部品である「ボールペン」の本体であり、図2の20にあるボールペンの换え芯用の装着孔を設ける。図2の21はボールペンの最先端印字部である。図2の22は図1の1電話機本体とバッテリーを差し换え交換する際の接続用脱着部であり図1の11と同様の凹凸溝を付けて図2の23のロック釦で接続を固定するものとし、此の別部品である「ボールペン」を作製し、用意する事に依って電話機以外の別用途としても使用可能と成り本考案を達成せしめるものである。

【0009】

【考案の効果】

携帯電話機本来の目的に添って、より小型化及び軽量化が図られて一層の便利性の高いものと成り、且つ別の用途でもある「筆記具」としても兼用できること等からしても幅広く使用が可能となる利点があり、今後一層要求される情報の多様化と一般大衆化への対応品として、そのニーズが拡大し期待されるものである。